

2018年2月

## 報道関係各位

### 「仙北インパクトチャレンジ」開催につきまして

きたる2018年2月17日、あきた芸術村(秋田県仙北市)において、IoT/AIを活用した地域創生事業の活性化を目指し、産官学の関係機関・企業など約20団体が参集するイベントを開催します。

#### ■仙北インパクトチャレンジとは？

本イベントは、「未来に向かって自力で生き抜くための行動を起こす。地域からの事業創造」をメインテーマに、全国からIoT/AI関連の事業者、官公庁の関連機関、大学、メディアなど約20数団体が参集して開催するもの。同日同会場では、「仙北インターナショナルドローンフィルムフェスティバル」が開催され、あわせて約700名の参加者を見込んでいる。

本イベントは、秋田ケーブルテレビ、仙北市、仙北市IoT推進ラボ、SFPパートナーズ、一般社団法人創生する未来の連携で実現した。仙北市は2016年に国家戦略特区として選定され、IoT/AIなどを活用した実証事業を数多く行ってきた。また、全国に仙北市に関連した事業者が全国に数多くいること、秋田県内では初の地方版IoT推進ラボとして活動していることから、今回の企画の実行地域として最適であるとして選定された。

本イベントでは最新技術を活用して事業化を推進する事例などを持ち寄って、発表会や関係者の情報交換、交流会を行う。秋田県では、全国のIoT/AIの事業化の事例紹介を中心としたイベントとして、見本市および全国のリーダー集まるカンファレンスとして、毎年この時期に開催することを志向している。

#### ■会場となるあきた芸術村

開催場所の「あきた芸術村」は、仙北市のランドマーク的な施設で、地元劇団わらび座の専用劇場や温泉施設ゆぼぼなどの宿泊施設、地ビールレストランなど舞台芸術を中心とする、総合レジャー施設。今回は、ここでブース展示、参加者による交流、情報交換、提案活動、講演会などを開催する。また国際空撮映像コンテスト「仙北インターナショナルドローンフィルムフェスティバル」の最終審査・発表会もわらび劇場で開催される。またわらび座の有するDAF（デジタルアートファクトリー）ではモーションキャプチャーを用いた、舞踊のデジタル実験やわらび座団員によるパフォーマンスなど予定されている。

#### ■実行委員長より

これからの社会は、地域や場所などとらわれることなく、いつでもどこでも事業をスタートはできる環境にあります。今回は仙北市IoT推進ラボを中心に、これからの未来を創造するために、国家戦略特区認定のアドバンテージを生かした事業を展開しながら、2018年2月の国際空撮映像コンテスト「仙北インターナショナルドローンフィルムフェスティバル」の発表とあわせて仙北インパクトチャレンジを開催します。新規の事業を展開するう

えで特区という有利な条件を生かして、民間の資本をもとに、仙北市（秋田）を拠点とした、事業創造のための見本市、企業連携、交流の場を構築します。定点的な活動、イベントを、もともと秋田の典型的な冬の雪のある時期に、仙北市のランドマーク的なあきた芸術村で実施することに意義があります。地域と首都圏の交流。近代技術を伝統文化との交流。産業と官庁、学術団体との融合など新たな事業創造の発火点となるイベントが仙北インパクトチャレンジです。大いに期待してください。（伊嶋謙二）

#### ■開催地

〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430  
あきた芸術村 温泉ゆぼぼ 本館  
Tel 0187-44-3311(代表)

#### ■主催

##### 仙北インパクトチャレンジ 実行委員会

- ・株式会社秋田ケーブルテレビ
- ・株式会社わらび座
- ・仙北市 IoT 推進ラボ
- ・SFP パートナース
- ・一般社団法人 創生する未来

#### ■後援

経済産業省 東北経済局  
独立行政法人 情報処理推進機構  
特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会  
地方版 IoT 推進ラボ  
秋田県  
仙北市

#### ■連絡先

- 仙北インパクトチャレンジ実行委員会  
実行委員長伊嶋謙二  
<http://souseimirai.jp/>  
電話 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692  
e-mail : [ishima@souseimirai.jp](mailto:ishima@souseimirai.jp)
- 実行委員会事務局  
〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字源左工門野 96  
「TAZAWAKO ベース」内  
(秋田新幹線田沢湖駅前「みずうみ」別棟 1F)  
e-mail : [tazawako.b@gmail.com](mailto:tazawako.b@gmail.com)

#### 「実行委員長の略歴」

一般社団法人創生する未来 代表理事 伊嶋謙二

1956年秋田生まれ。矢野経済研究所でのIT産業の調査・研究業務に従事した後、1998年にIT調査会社ノークリサーチを設立し、代表取締役社長に就任。中堅・中小企業（SMB）市場のIT調査を得意とし、SMBのIT利用実態に詳しい。民間企業だけでなく経済産業省、総務省などの官庁や商工会議所や自治体などの公的な団体からの調査・コンサルティングも行う。また様々な関連業界誌で積極的な執筆も展開中。2017年6月に一般社団法人創生する未来を設立。現在に至る。

#### 「仙北インパクトチャレンジ詳細」

**テーマ：**「未来に向かって自力で生き抜くための行動を起こす。地域からの事業創造」

「スケジュール」

10：00 ブース出展開始

11：50 仙北インパクトチャレンジステージ開始

開会の挨拶（開催者）

来賓のご挨拶

・東北経済産業局、IPA 地方版 IoT 推進ラボ担当、仙北市長

#### ステージ（プレゼン）

12：00-14：40（160分）

・特別トークディスカッション（40分）

「先端プロジェクト：ドローン×プログラミング教育の紹介」

〈次世代教育は地域から始める、今の先端テクノロジーだからこそ広がる未来〉

登壇者：玉川大学学術研究所先端知能・ロボット研究センター准教授小酒井正和氏、

FPV Robotics 株式会社代表取締役社長駒形政樹氏、秋田県西明寺小学校教員伊藤昭光氏、

モデレータ：駒形氏

・個別プレゼンステージ（120分。プレゼンは8団体。各約15分）

14：40 終了

フィルムフェスティバルへ移動

15：00

フィルムフェスティバル

17時終了 その後懇親会（別会場）